

# 新フェローの紹介

## 佐藤 馨一 (さとう けいいち) 氏

昭和 19 年 6 月生れ

〔学歴〕 昭和 42 年 北海道  
大学工学部土木工学科卒業

〔職歴〕

昭和 42 年 建設省入省

昭和 50 年 北海道大学工学  
部助手

昭和 60 年 同助教授

平成 4 年 同教授

平成 20 年 北海道大学名誉教授 北海商科大学商学  
部教授 現在に至る

〔OR 学会関係〕 北海道支部幹事 平成元～2 年度、  
評議員 平成 2～5 年度、北海道支部運営委員 平成  
3～12 年度・平成 19～23 年度、北海道支部副支部長  
平成 13～14 年度、北海道支部支部長 平成 15～16 年  
度、支部監事 平成 17～18 年度

〔著書等〕 研究発表多数

佐藤氏は、交通計画学、都市計画学、地域計画学の  
分野において OR を積極的に取り入れ、数多くの研究  
業績を残されています。その成果は北海道内の多くの  
交通計画に活用され、北海道新幹線や高速道路整備を  
はじめとする交通体系の確立・発展に貢献されていま  
す。本学会においても、長年にわたり北海道支部の要  
職を歴任され、活動を支えてこられました。

## 神 正照 (じん まさあき) 氏

昭和 20 年 3 月生れ

〔学歴〕 昭和 43 年 東北工  
業大学電子工学科卒業 (工学  
博士)

〔職歴〕

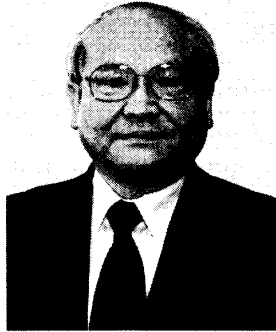
昭和 43 年 東北工業大学  
助手

昭和 53 年 同講師

平成 10 年 同准教授

平成 23 年 同大学情報センター 現在に至る

〔OR 学会関係〕 東北支部幹事 昭和 60～63 年度、  
評議員 平成 10～13 年度、支部監事 平成 8～13 年



度、代議員 平成 14 年度～現在、東北支部副支部長  
平成 14～16 年度、東北支部支部長 平成 17 年度～23  
年度、平成 22 年秋季研究発表会実行委員長

〔著書等〕 パソコンによる東洋医学 経路・経穴編  
(浪速社)、Flow-Chart・BASIC (萩の郷工場印刷)、  
自己免疫力をつけて糖尿病の予防を (大学生協)、学  
術論文 72 編、研究発表多数

神氏は、東北工業大学において電子工学関連の教鞭  
をとられる一方、東洋医学分野の研鑽を積まれ、その  
分野の手法と OR 手法を結びつける研究をされ、数多  
くの研究業績を残されています。本学会においても、  
長年にわたり支部監事、副支部長、支部長等を歴任さ  
れ、その活動を支えておられます。

## 永持 仁 (ながもち ひろし) 氏

昭和 35 年 1 月生れ

〔学歴〕 昭和 63 年 京都大  
学大学院工学研究科博士学位  
修了 (工学博士)

〔職歴〕

昭和 63 年 豊橋技術科学大  
学情報工学系助手

平成 2 年 京都大学工学部助  
手

平成 5 年 同助教授

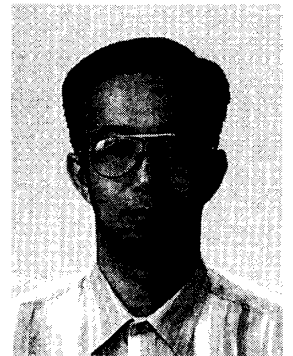
平成 12 年 豊橋技術科学大学情報工学系教授

平成 16 年 京都大学大学院情報学研究科教授 現在  
に至る

〔OR 学会関係〕 第 34 回文献賞 平成 18 年度、関西  
支部運営委員 平成 4 年度・平成 7～8 年度、平成  
17～23 年度、関西支部幹事 平成 5～6 年度、論文誌  
編集委員 平成 18～21 年度

〔著書等〕 Algorithmic Aspects of Graph Connectiv-  
ities (共著, Cambridge University Press, 2008), グ  
ラフ理論 連結構造とその応用 (共著, 朝倉書店,  
2010), 学術雑誌論文 150 編, 国際会議論文 130 編,  
研究発表多数

永持氏は、グラフアルゴリズムを中心に離散最適化  
の分野で精力的に研究活動をされ、成果を国内外の専  
門誌に発表され高い評価を受けておられます。平成



18年度にはグラフ連結度に関する新しい計算法に関する論文で本学会文献賞を受賞されました。本学会においても、関西支部運営委員、論文誌編集委員等を歴任され、活動を支えておられます。

### 中山 明 (なかやま あきら) 氏

昭和31年9月生れ

〔学歴〕 昭和61年 筑波大学大学院博士課程社会学部工学研究科単位取得退学 (学術博士)

〔職歴〕

平成61年 小樽商科大学管理科学科助手

平成元年 文部省情報処理内地域研究員 (筑波大学社会学系)

平成2年 福島大学行政社会学部助教授

平成12年 同教授

平成16年 同大学共生システム理工学類教授 現在に至る

〔OR学会関係〕 東北支部幹事 平成8~10年度, 支部監事 平成11~12年度, 東北支部運営委員 平成13~16年度, 東北支部副支部長 平成17~23年度, 代議員 平成20年度~現在, 研究普及委員 平成21年度~現在

〔著書等〕 中山氏は、最適化問題、ネットワーク理論、交通問題、ゲーム理論など広範囲な分野で研究活動をされ、精力的に発表されています。また、地元行政機関からの要請に応えるなど、貢献されています。本学会においても、東北支部幹事、運営委員、副支部長等を歴任され、その活動を支えておられます。

### 行方 常幸 (なめかた つねゆき) 氏

昭和27年12月生れ

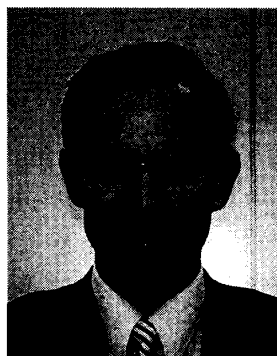
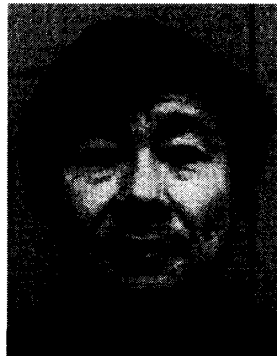
〔学歴〕 昭和57年 大阪大学大学院工学研究科博士後期課程単位取得退学 (工学博士)

〔職歴〕

昭和57年 小樽商科大学商学部助手

昭和62年 同助教授

平成7年 University of Twente, Applied Mathematics (オランダ)



平成8年 同教授 現在に至る

〔OR学会関係〕 北海道支部運営委員 平成元~4年度・平成7~16年度・平成21~23年度, 評議員 平成8~9年度・平成12~13年度, 北海道支部副支部長 平成17~18年度, 北海道支部支部長 平成19~20年度, 代議員 平成18~21年度

〔著書等〕 経済・社会・工学・農業系のための線形数学 (共著, 1988), はじめてのゲーム理論—ゲーム理論と人間の繋がり— (共著, 1995), 公平のあり方 (共著, 2008), 学術論文等約30編, 発表多数

行方氏は、動的計画法、ゲーム理論の研究を長年続けておられ、さまざまな逐次配分問題における最適政策の定性的性質の導出、提携形ゲームにおける新しい解の提案、囚人のジレンマゲームにおけるジレンマ回避の方法の提案など、多数の成果を残されています。本学会においても、北海道支部副支部長、支部長等を歴任され、その活動を支えておられます。

### 長谷川 淳 (はせがわ じゅん) 氏

昭和18年12月生れ

〔学歴〕 昭和46年 北海道大学大学院工学研究科博士課程修了 (工学博士)

〔職歴〕

昭和46年 北海道大学工学部講師

昭和47年 同助教授

昭和60年 同教授

平成9年 同大学院工学研究科教授

平成16年 函館工業高等専門学校校長

平成21年 北海道情報大学学長 現在に至る

〔OR学会関係〕 北海道支部運営委員 昭和62~63年度・平成15~23年度, 北海道支部副支部長 平成11~12年度, 北海道支部支部長 平成13~14年度

〔著書等〕 電力系統工学 (共著, コロナ社, 1979), 電力発生工学 (共著, オーム社, 1980), 電力工学 (共著, 森北出版, 1987), 現代 電力輸送工学 (共著, オーム社, 1992), 学術論文110編, 研究発表多数

長谷川氏は、電力システム工学の分野で精力的な研究活動をされ、多数の論文を国内外の雑誌や国際会議で発表され、その業績は高く評価されています。また、教育の面でも多大な貢献をされ、多くの優秀な人材を養成されておられます。本学会においても、北海道支部運営委員、支部長を歴任されるなど、その活動を支



えておられます。

## 鳩山由紀夫 (はとやま ゆきお) 氏

昭和 22 年 2 月生れ

〔学歴〕 昭和 51 年 米国スタンフォード大学大学院オペレーションズ・リサーチ学科博士課程修了 (Ph. D.)

〔職歴〕

昭和 51 年 東京工業大学工学部助手

昭和 56 年 専修大学経営学部助教授

昭和 61 年 衆議院議員

平成 21 年 9 月～平成 22 年 6 月 内閣総理大臣 現在衆議院議員

〔OR 学会関係〕 機関誌編集委員 昭和 52～53 年度, 論文誌編集委員 昭和 58～59 年度, 評議員 昭和 59～60 年度・昭和 63 年度～平成 13 年度

鳩山氏は, 信頼性理論を中心に研究活動をされる研究者として本学会に入会され, 政治家に転身された後も本学会正会員として在籍され, 本学会創立 50 周年記念式典においてご講演をいただきました。本学会においても, 機関誌編集委員, 論文誌編集委員, 評議員を歴任されるなど, その活動を支えてこられました。

## 牧野 和久 (まきの かずひさ) 氏

昭和 45 年 2 月生れ

〔学歴〕 平成 9 年 京都大学大学院工学研究科博士後期課程修了 (工学博士)

〔職歴〕

平成 9 年 大阪大学大学院基礎工学研究科助手

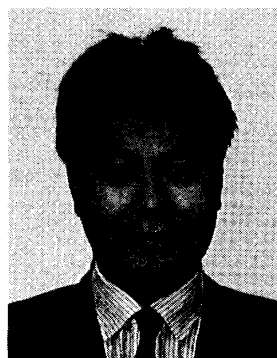
平成 12 年 同講師

平成 14 年 同助教授

平成 17 年 東京大学大学院情報理工学系研究科助教授

平成 19 年 同准教授 現在に至る

〔OR 学会関係〕 第 32 回文献賞 平成 16 年度, 論文誌編集委員 平成 16～19 年度



〔著書等〕 学術論文, 研究発表多数

牧野氏は, 離散最適化, アルゴリズム理論などの分野で精力的な研究活動をされており, その成果を国内外の専門誌に発表され, その業績は高く評価されています。特に, 単調な論理関数の双対化に関連した成果により, 本学会第 32 回文献賞を受賞されています。本学会においても, 研究部会幹事, 論文誌編集委員を歴任され, その活動を支えておられます。

## 吉瀬 章子 (よしせ あきこ) 氏

昭和 37 年 8 月生れ

〔学歴〕 平成 2 年 東京工業大学大学院理工学研究科単位取得退学 (工学博士)

〔職歴〕

平成 2 年 筑波大学社会工学系准研究員

平成 3 年 同講師

平成 5 年 同助教授

平成 17 年 同大学院システム情報工学研究科助教授

平成 19 年 同教授 現在に至る

〔OR 学会関係〕 第 5 回学生論文賞 昭和 62 年度, 第 35 回文献賞 平成 19 年度, 「アルゴリズムと最適化」研究部会幹事 平成 13～14 年度, 第 58 回シンポジウム実行委員 平成 19 年, 平成 21 年春季研究発表会実行委員, 表彰委員 平成 21 年度～現在

〔著書等〕 A Unified Approach to Interior Point Algorithms for Linear Complementarity Problems (共著, Springer-Verlag), Interior Point Methods of Mathematical Programming (第 8 章, Kluwer Academic Publishers), 応用数理計画ハンドブック (第 5 章, 共著, 朝倉書店), 査読付論文 27 編, 研究発表多数

吉瀬氏は, 連続最適化の分野で活発に研究活動をされており, その成果は国内外の専門誌に掲載されるなど高い評価を受けておられます。平成 19 年度には, 半正定値錐などを含む対称錐上の相補性問題を解く際に重要となる理論的な性質を導出した論文で本学会文献賞を受賞されています。本学会においても, 表彰委員, 各種実行委員を歴任されるなど, その活動を支えておられます。

